

神戸新聞に 谷工務店の事例が 紹介されました

※ [施工事例はこちら](#)

(第3種郵便物認可)

神戸新聞

自然の中にたたずむ「ロコノマド」。宿泊も可能で都会の共有オフィスではできない体験を提供する
＝神戸市灘区六甲山町(いずれも撮影・吉田敦史)

六甲山上でビジネス交流を

共有オフィスがオープン

六甲山上のビジネス交流拠点となる会員制の共有オフィス「ROKONOMAD」(ロコノマド)が26日、神戸市灘区六甲山町にオープンした。一帯を創造性が発揮できるビジネス空間にする神戸市の「六甲山上スマートシティ構想」の一環。都市部では味わえない豊かな自然を舞台に、新型コロナウイルス禍での新たな働き方を提案する。
(大盛周平)

「森の中の仕事場」提供

新オフィスは、神戸ゴルフ倶楽部近くの敷地(約2100平方メートル)にあり、企業の保養所だった個人所有の物件を改装した。市の公募で選ばれた共同事業者が物件を借り上げて運営する。「六甲」と、場所を問わない働き方を意味する「ノマド」を合わせた造語。

改装した。市の公募で選ばれた共同事業者が物件を借り上げて運営する。「六甲」と、場所を問わない働き方を意味する「ノマド」を合わせた造語。

インターネット環境も整備されたワークスペース

語から命名した。メイン棟は2階建てで、木材をふんだんに使ったレトロな雰囲気。ワークスペースとテレビ会議用の個室を備え、寝室を複数用意した。宿泊可能な木造コテージ2棟もあり、3棟それぞれにキッチンなどを配備している。コンセプトは「森の中の泊まれるシェアオフィス」。光回線やWi-Fiなど市街地と同等のインターネット環境も整備した。

個人利用や企業の研修などのほか、芸術家らに2〜4週間滞在して創作活動をしてもらうなど、多様な目的で利用してもらおう考え。ロコノマドの利用者を支援する常駐マネージャーのヤンセン尚子さん(46)は「海からすぐ山があるすこく貴重な場所、気分転換しながら仕事をしてもらえれば」としている。

「ロコノマド」のホームページからメール登録し、実際にスタッフらと施設の内覧会に参加。審査を経て会員登録する。入会金1万1千円(4月中は5500円)。月4回の個人利用6600円など。

神戸新聞 2021年3月27日

朝刊・地域経済8

